

韓国基督教長老会京畿南老会との交流について

稲田英信

大阪教区には、韓国基督教長老会京畿南老会との交流特別委員会が設置されており、その委員長を務めているキム・ジョンギョ牧師（石橋教会）が8月の夏期特別礼拝で、北千里教会に来られ、韓国基督教のお話をして下さいました。

韓国はクリスチャン人口が25%を超えており、教会の数はコンビニより多く、日本とは比べ物にならないほど大きい教会が多数存在します。

教会の規模やその熱気が違いすぎる中で、現在の北千里教会が韓国の教会の訪問団を受け入れることについては、慎重にならざるを得ません。旅費や宿泊費などの費用、宿泊先、案内をする人材など、課題も多くあります。

しかし、世界の至る所で紛争が起きている昨今、同じ神さまを信じる者同士が、国の枠を超えて交流することは、とても意義のあることだと個人的には思いますし、いろいろな歴史的経緯があったとしても、未来に向けて良い関係を深めていくことができれば、素晴らしいことだと思います。

例えば、教会員個人が、韓国の教会員と交換ホームステイのような形で、個人的に交流することを望むのであれば、教会として何らかのサポートができるか等、交流の手法についての話し合いは、継続して行っていけばいいのではないかと、思います。

